

1 「自由」を尊重する「自治」の伝統

創設以来120年間灯し続けた「自由と理想の追究」の姿勢は、現在の自治会（生徒会）にも息づいており、「学校生活のすべてを生徒の手で」という目標の下に、諸活動が計画されています。

自治会の「代議」、「執行」および「司法」の各委員会からなる三権分立体制から生徒心得にいたるまで、生徒が主体となった自治的な活動は、学校の基本理念として脈々と受け継がれています。

2 県内最大級の広いキャンパスと文武両道

広大な校地に東西2面のグラウンド、8面のテニスコート、50mプール、体育館、独立格技場、トレーニングジム等の、大学並みの施設を持っています。

またこうした環境と文武両道の精神の下、勉学だけではなく部活動にも力を入れ、運動部は例年東海大会や全国大会に出場し、文化部も全国レベルで活躍しています。



3 東高の三大行事「香陵祭」「海浜教室」「高原教室」

生徒自らが創り上げる非日常世界に遊ぶ「香陵祭」。後夜祭で燃えさかるファイアを囲んでの仲間との語らいは、青春の心の高鳴りを感じる煌めく瞬間です。

土肥の海を遠泳し、連帯感と逞しさを身につける「海浜教室」。志賀高原の夕暮れ、池の畔で友人と共有する自然との一体感に、人間らしさとは何かを考える「高原教室」。

知性・教養に加え、豊かな感性と人間性を育む伝統行事です。



4 「香陵記念館」と独立図書館

全26普通教室、特別2教室にエアコンが完備された快適な学習環境に加え、全館エアコン完備の2階建て「香陵記念館」があります。この建物は、「図書館こそ学校の心臓部」という本校の教育理念に沿い、創立90周年記念事業により建設されたものです。建物内には1階に150席のホールや会議室、和室などがあり、様々な行事で使用されています。2階が、校舎から独立した図書館で、38,000冊を超える蔵書があり、生徒は何冊でも自由に借りることができます。自習室もあり、放課後は3年生を中心に満席になることもしばしばです。



7 希望に柔軟なカリキュラム

全国的にもいち早く採用した単位制により、進路志望における文系・理系について教科科目の選択の幅が広がっており、また文系・理系の転換に対しても弾力的に対応することができます。

生徒の希望を尊重して講座（授業集団）を編成しているため、少人数講座を数多く設定し、「主体的・対話的で深い学び」によって能動的に学習に取り組んで「自らが学ぶ力」が養われています。

8 熱意と意欲に溢れる個性豊かな教職員

教科学習、部活動や特別活動などにおいて、指導力が高く経験豊かで熱意あふれる教員が、一人一人の生徒に対応したきめ細かい指導をしています。

本校を代表する行事である高原教室では毎日山を登り、海浜教室では遠泳に参加するなど、師弟同行を実践しながら生徒とともに喜びを分かち合う教職員集団が、全人的な人間教育を実践しています。

10 世界を翔るBB事業 (Building Bridges Project)

生徒の外国語運用能力の向上を目指し、将来世界で活躍できる人材育成に、沼東高同窓生でつくる香陵同窓会がBB事業を立ち上げ、運営しています。

校内に日本語厳禁の「インターナショナルルーム」を設置し、放課後の時間を利用してネイティブスピーカーの指導を受けることができます（定員あり）。英語で積極的かつ自由に語り合い、四技能検定のケンブリッジ英検にも挑戦します。意欲ある成績優秀者は総合的探究のリーダーシップを担うとともに、米国ワシントンD.C.への海外研修に参加することができます。



沼津東12の特色

11 心強い関係諸団体

PTA、同窓会、奨学会、振学対策委員会等の多くの方が本校の教育活動を支えてくださっています。

「香陵記念館」をはじめとする施設建設や、学校行事における物的・人的支援は、他校にはない力強さです。「在校生表彰・支援委員会」には、勉学や部活動等において特に優れた活躍をした個人または団体を表彰する『香陵久遠賞』と、入学後経済的事情等で支援が必要な生徒への奨学金制度があります。また、「運動部支援委員会」では、本校運動部の活動を支援してくれています。いずれも同窓生の方々の熱い気持ちで、本校生徒の活躍を支えてくれています。

5 「高い志」が育む確かな進学実績

「利他の精神」に支えられた東高生の高い志は、国際社会で活躍できる能力を身につけるという目標を実現するための原動力です。志を抱いた生徒が集まってそのロマンを語り合い、共に学び切磋琢磨する環境は、勉学への動機と刺激を育みます。

勉強と部活動との両立を達成しながら難関大学へチャレンジする意欲をかき立て、毎年多くの大学合格者を出しています。

9 国内外で活躍する多くの卒業生

日本ペンクラブ会長経験者（作家の芹沢光治良氏、井上靖氏、詩人の大岡信氏）、元日本学士院院長 長倉三郎氏（物理化学）など、多くの同窓生が学術・実業・医療・法曹をはじめ、各界のリーダーとして活躍しています。

また、卒業生による在校生への講演会などが定期的に設定され、世界に目を向け、将来を考える契機となっています。

6 充実した進路指導、特色ある指導プログラム

進路行事として、1年次には弁護士・医師・ジャーナリスト・編集者等の専門家を講師として招いて「職業を知るセミナー」が、2年次には大学教授による「大学出張講義」等が組まれています。

また、PTA支援のもとに全学年を対象に土曜講座を開講し、平常の学習の定着と発展的な拡充を促していきます。



大岡信文学碑（第44回卒）

長倉三郎記念碑（第34回卒）

12 大人気の学生食堂

合宿等に供される香陵会館（生活館）は1階が食堂、2階が合宿所となっており、生徒は親しみを込め「コーカン」（香館）と呼び、昼休みや放課後には安らぎの場となっています。

食堂営業する昼休みには、カレー、ラーメン、そば、うどん、日替り定食・・・等、栄養バランスを考えた豊富なメニューが安価で揃い、生徒のみならず教職員・外来者にも大いに利用されています。

